



## 実り多き秋になるように

子どもの自主性や個性を認めつつも、いつどのように促し導くことが子どもにとって良いか、判断に迷う場面があるかと思えます。子どもの主体性や出張を尊重し過ぎると、成長過程や社会的自立（将来）に不安を感じます。反対に、大人が指示ばかりすれば、自分で考えて行動する力がなかなか育まれません。

内閣府の教育・人材育成ワーキンググループがまとめた「Society5.0の実現に向けた教育・人材育成に関する政策パッケージ」では、＜子供の特性を重視した学びの「時間」と「空間」の多様化＞として、「すべての子供たちの可能性を最大限引き出すことを目指し、子供の認知の特性を踏まえ、『個別最適な学び』と『協働的な学び』※の一体的な充実を図り『そろえる』教育から『伸ばす』教育へ転換し、子供一人ひとりの多様な幸せ（well-being）を実現。このためには、皆同じことを一斉に行い、皆と同じことができることを評価してきたこれまでの教育に対する社会全体の価値観や平均点主義の評価軸を変えていくことも必要。」と示されています。〔※『個別最適な学び』と『協働的な学び』の一体的な充実は、中央教育審議会の答申（令和3年1月）「令和の日本型学校教育」からの引用〕

このように、他者（友達）と比べるばかりではなく、その子の良さ（自分らしさ）を、意図して的確に認めていくことが求められています。「こんなふうに育てほしい」と願う大人のビジョンをもちつつ、子どもが自分の特性に気づき、自らの興味・関心の幅をどんどん広げる機会を保障していきたいものです。

「〇〇の秋」と言われますが、子どもたちにとって、さまざまな実がなる秋となることを願っています。どんな実がなるか、また、実がなっていることを子どもが自覚できるかは、大人のかかわり方次第かと思えます。

お子様の健やかな成長のため、今後ともご支援ご協力をお願いします。なお、学校と共有しておきたいことがございましたら、メールにてご連絡ください。

【森本小学校メールアドレス morimoto-e@kanazawa-city.ed.jp】

## 学年ごとに秋の遠足へ

今年度は、以下のように学年ごとに秋の遠足を行います。遠足を通して、集団で行動すること、公共の場（学年によっては鉄道利用）で他の利用者とともにマナーを守って使用すること、友達といっしょに学ぶ（遊ぶ）ことなど、たくさんの経験ができればと思います。お弁当の準備等、ご協力をお願いします。併せて、遠足のあと、どんな実がなったかをご家庭で話題にいただければと思います。

1年	2年	3年	4年	5年	6年
湖南運動公園	湖南水辺公園	城北多目的広場 あめるんパーク	城北児童館 城北中央公園	七塚中央公園	金沢探訪

## 校内マラソン記録会に向けて

11月に、学年ごとにマラソン記録会（順位を競うタイムレースではありません）を実施します。今年度から、全学年とも1000mのタイムを計測し、個々の成長を毎年追跡していきます。そのために、体育の授業で少しずつ練習を重ねていきます。

ご家庭でも、健康観察を丁寧に行っていただき、体調の変化や心配ごとを学校までご連絡ください。

